

第59号・令和8年1月

# 農業会議だより

発行：一般社団法人佐賀県農業会議



農業担い手大交流会の様子

## 【内容】

1. 新年挨拶
2. 県選出の国會議員への要請活動、農業委員会会長代表者集会
3. 農業担い手大交流会を開催しました
4. 活躍する若い農業者の紹介（吉野ヶ里町 メイショウファーム）
5. タブレットの導入・活用状況
6. 九州・沖縄ブロック女性委員研修会
7. 武雄市農業委員会の取組み
8. Open Farmland in Saga ~企業参入（農地見学会）~
9. 就農応援フェア in さがの紹介
10. 大区画化等加速化支援事業の紹介
11. 農業者年金の加入推進
12. 全国農業新聞の普及推進、全国農業図書の紹介
13. 常設審議委員会の結果（11月・12月）
14. 今後の行事予定

## 1. 新年挨拶



会長 大園敏明

謹んで新春のお慶びを申し上げます。令和8年の幕開けにあたり、農業会議を代表してご挨拶を申し上げます。

日頃より農業会議の業務推進にあたって格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、農業委員、農地利用最適化推進委員の皆様、県・市町関係機関、農業団体の皆様には、農地の適正な利用や担い手の育成、地域農業の振興など、皆様の活動が地域の農業を支える大きな力となっていることに改めて感謝申し上げます。

さて、昨年は令和の米騒動と呼ばれる事態が発生し、コメ価格の高騰や備蓄米の放出が社会問題となりました。この経験は、食料の安定供給がいかに国民生活に直結するかを改めて示すものであり、農政の在り方そのものが問われた1年がありました。

また、昨年は、皆様方の多大なるご尽力により、県内343地区で地域計画が策定されました。将来にわたって農地を守り、持続可能な地域農業を進めるための重要な一步を皆様と共に踏み出せたことは、大きな成果でもあります。関係者の皆様のご努力と熱意に、改めて深く感謝申し上げます。

引き続き、昨年4月より始めた農地利用の最適化活動を推進する「プラスワン運動」とともに、地域計画のブラッシュアップを推進し、農業を次世代へとつなぐため、皆様と力を合わせ、地域農業の維持・発展にまい進してまいりたいと存じます。

また、本年は、県内13市町で農業委員・推進委員の改選となります。女性委員の登用促進をお願いするとともに、農業委員会活動が切れ目なく継続できるよう、新旧委員の円滑な引継ぎをお願いします。

令和8年が皆様にとって実り豊かな一年となりますよう祈念し、新年のご挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 2. 令和7年度農業者年金加入推進セミナー及び県選出国會議員への要請活動、全国農業委員会会長代表者集会について

○日時：令和7年11月26日（水）～27日（木）

○場所：東京都「銀座ブロッサム」、「国会議員会館」、「文京シビックホール」

○参加者：24名

佐賀市(大園会長・長谷川委員・古賀職員)、唐津市(山崎会長)、鳥栖市(篠原会長)、多久市(永渕会長)、伊万里市(西山会長)、武雄市(岩橋会長)鹿島市(中村会長)、小城市(秋丸副会長)、嬉野市(石橋会長)、神埼市(牛島会長)、吉野ヶ里町(中村会長)、みやき町(寺田会長)、玄海町(越路会長・吉田委員)、有田町(岩永副会長)、大町町(永尾会長)、江北町(井上委員・本村事務局長)、白石町(片渕会長・木下副会長)、農業会議事務局(田代専務理事・徳永係長)

### 【11月26日（水）】

#### 令和7年度農業者年金加入推進セミナー

- (1) 主催者挨拶 全国農業者年金連絡協議会 代表 國井正幸 氏
- (2) 研修①  
演題：農業者年金制度と加入推進  
講師：独立行政法人農業者年金基金 理事長 黒田夏樹 氏
- (3) 研修②  
演題：農業経営を支える労務管理と農業者年金の活用法  
講師：橋本将詞社会保険労務士事務所 橋本将詞 氏
- (4) 加入推進に関する活動事例報告  
北海道富良野市農業委員会 会長 杉村鉄也 氏
- (5) 農業者年金の加入推進に向けた申し合わせ決議

### 【11月27日（木）】

#### 県選出国會議員への要請活動

全国農業委員会会長代表者集会で決議予定の要請書と本県独自の要請書とともに、県選出国會議員に要請し、意見交換を行いました。

#### 【要請書】

- (1) 令和8年度農業関係予算の確保及び新たな地域計画の実現と農業構造の転換の推進に向けた要請
- (2) 令和7年度地域計画の達成に向けた農業振興策の要請活動

### 【主な意見・要望の内容】

- 農業機械の導入コストが高額であり、特に新規就農者は初期投資に苦慮されている。機械導入に対する支援を拡充してほしい。佐賀農業を担う若い農業者を育てていくことが大事である。
- 共同乾燥施設や集出荷施設、水利施設等が老朽化しており、再編整備を進めていくための予算を確保してほしい。
- 現在の米価高騰は、農家にとっては追い風になっているが、来年以降米価が値下がりしないか不安が大きい。農家が持続的に安定した経営ができるよう支援してほしい。
- 農業委員会活動を効果的に進めるため、タブレットの活用は重要でありリース料について交付金の対象としてほしい。
- 農地の貸借については、本年4月から農地中間管理機構に一本化され、業務量が大幅に増えている。事業運営が厳しくなっており農地中間管理機構への支援充実をお願いしたい。

### 令和7年度全国農業委員会会長代表者集会

- (1) 主催者挨拶 全国農業会議所 会長 國井正幸 氏
- (2) 来賓挨拶 農林水産大臣 鈴木憲和 氏  
農林水産副大臣 山下雄平 氏（紹介）  
衆議院 農林水産委員長 藤井比早之 氏  
参議院 農林水産委員長 藤木眞也 氏  
農業委員会等に関する議員懇話会 会長 坂本哲志 氏  
農林水産省経営局審議官 神田宜宏 氏（紹介）
- (3) 運営委員長報告 全国農業会議所 副会長 望月雄内 氏
- (4) 要請決議、申し合わせ決議、活動事例報告
  - ① 要請決議  
第1号議案 令和8年度農業関係予算の確保及び新たな地域計画の実現と農業構造の転換の推進に向けた要請決議
  - ② 申し合わせ決議  
第2号議案 「地域計画の実現により、持続可能な農業・農村を創る全国運動」を推進するための申し合わせ決議
  - 第3号議案 「情報提供活動」の一層の強化に関する申し合わせ決議
  - ③ 活動事例報告
    - 1) 地域計画策定までの取り組みについて  
富山県入善町農業委員会 会長 米山義隆 氏
    - 2) 地域計画の見直し 新しい試み  
長崎県長与町農業委員会 会長 水谷勉 氏
    - 3) 扱い手を支える多角的な取組み、農業委員会がつなぐ地域と農地  
群馬県明和町農業委員会 会長 野木村薰 氏

### 【まとめ】

11月26日、27日に東京都で開催された「農業者年金加入推進セミナー」、「全国農業委員会会長代表者集会」に出席し、農業者年金の加入推進における重要性を再認識するとともに、地域農業の課題や現場の実情等について県選出国会議員へ直接訴えることができ、大変有意義な要請活動となりました。

### 3. 農業担い手大交流会を開催しました

農業会議（会長：大園敏明）は、農業担い手大交流会を11月26日に佐賀市で開催し約130名が参加しました。

本交流会は「稼ぐ」農業経営体（農業法人協会役員等）と若い担い手が交流し、自身の経営目標となる人を見つけて経営発展につなげることを目的として開催しました。

まず、第1部の基調講演では、小ネギの水耕栽培から販売まで手掛ける大分県国東市の上原農園(株)の上原隆生代表取締役が「持続的経営を行うには通年雇用とする必要があり、収穫回数が多く、通年需要がある」とミカン栽培から転換した理由を語られました。また、生産から販売まで中間業者を省き一気通貫して行い、その結果、物流コストが軽減されバイヤーとの価格交渉が可能となり、現在、約60のスーパーと契約栽培していると力説されました。



続いて、上原代表取締役より指導・助言を受けたウーマンメイク(株)の平山亜美社長はオンラインで講演。同じく大分県国東市でレタスの水耕栽培を行っていて、「女性が輝く農業を通じて、地域活性化に貢献する」を経営理念に掲げ、女性のみ24人を雇用し、子育てや介護等の都合に応じた働きやすい勤務体制や休みを取りやすい環境作りに努めていることを紹介されました。

第2部の名刺交換・交流会では講師の上原社長と農業法人協会の役員等を中心とした稼ぐ経営体（スペシャリスト）14名が若い担い手からの規模拡大、販路開拓、人材の確保、法人化などについての質問を受け助言を行いました。参加者からは「法人化についてアドバイスしてもらい大変よかったです」などの声がありました。



引き続き農業会議では、研修会や交流会を開催し、若い農業人材の育成を図っていきます。

令和7年度 農業担い手Sプラス推進事業経営発展研修会 参加者募集中

「稼ぐ」経営体と若い担い手の交流！！

## 全国優良経営者の基調講演・パネルトークを開催します！

・日時：令和8年1月20日（火）13:30～

・場所：佐賀市・グランデはがくれ 参加費6,500円（情報交流会参加の場合）

### 【タイムスケジュール】

◆開会 13:30

◆あいさつ 13:30～

◆基調講演 13:45～14:45

演題「非農家から大規模農業経営への実現と未来の農業へ！」（仮題）

講師 有限会社大崎農園代表取締役 山下 義仁氏

◆パネルトーク 15:00～16:00

令和7年度全国優良経営体表彰（農林水産大臣賞）受賞の経営者との意見交換  
テーマ「大規模農業経営へのポイントと持続可能な農業について」

司会：(有)伊万里グリーンファーム代表取締役会長 前田 清浩氏

パネラー (有)大崎農園代表取締役 山下 義仁氏、常務取締役 佐藤 和彦氏

◆情報提供 16:15～16:45

◆情報交流会 17:30～19:30

参加費 6,500円（当日、受付で集めます）

※キャンセルについては、5日前の1月15日（木）以降は同額徴収します。



(有)大崎農園代表取締役  
山下 義仁氏



(有)大崎農園常務取締役  
佐藤 和彦氏

鹿児島県大崎町にある(有)大崎農園は東海大学海洋学部出身の3名（非農家出身）で平成6年に設立。120haの農地で大根、サツマイモ等を栽培。20数年で売上高12億円を超える大規模経営を実現し更なる安定経営を目指して高品質と能率向上の数値管理を行い若手人材の育成や販路拡大など先進的な取り組みを実践されています。

参考範囲：農業委員、農地利用最適化推進委員、農業法人協会、稲作経営者会議、農業士会  
青年農業士会、4Hクラブ、農業者、各地域農業振興センター等関係機関 約80名

● 主催、問合せ、参加申込は

一般社団法人佐賀県農業会議 武藤 ☎0952-20-1810

## 4. 活躍する若い農業者の紹介

### 海外経験を力に、若手農家が挑む農業

吉野ヶ里町で農業経営を行う MEISHO FARM（メイショウファーム）は、環境に配慮した農業と加工品開発を組み合わせた取り組みで注目を集めています。代表を務める生島明さん（30）は、海外での農業経験を原点に、日本農業の新たな可能性を地域から発信されています。

生島さんが海外の農業に目を向けたきっかけは、大学生時代に抱いた「日本の農業を外から見てみたい」という思いでした。語学や経営を学ぶ中で食料問題や環境問題への関心が高まり、「農業は国や文化によって考え方や仕組みが異なるのではないか」と感じるようになったといいます。

大学卒業後、フィリピン、ニュージーランド、アメリカ、オランダ等で農業現場を経験。各国の農業や食文化は思っていた以上に大きく異なり、生島さんにとっては毎日が新たな学びの連続だったといいます。「国は違っても農業の根っこにあるのは“食を支える”という同じ思い。それぞの良さを組み合せれば、日本の農業にも新しい可能性があると感じました」と生島さんは話します。

帰国後、こうした経験を生かして令和5年にメイショウファームを立ち上げ農薬や化学肥料の使用を極力抑え、有機肥料や緑肥、益虫の活用など自然と共に生する栽培を実践されています。現在は、ナスやニラ、ジャガイモなど約50品目を栽培し、特に白ナスは福岡の市場で取引しており、主にこだわりのある八百屋、スーパー、レストランなどで使われています。

さらに、一次産業にとどまらず、そら豆や唐辛子を原料にした調味料の製造にも挑戦。「生産から加工・販売まで一貫して行うことで、農業の付加価値を高めたい」と熱く語られました。

令和7年4月から国際交流の一環として、カナダやフランスなど海外からの旅行客が農業体験できる仕組みを活用し、農作業を体験してもらい、若手スタッフとの交流を通じて、互いに学び合う場をつくっています。

「海外で学んだことを、今度は地域に返していきたい。農業を通して、人と人がつながる場所を育てていけたら」と話す生島さん。

生産だけでなく、交流や学びの場としても広がりを見せるメイショウファームの取り組みは、これから地域農業の一つのかたちとして期待されています。



## 5. タブレットの導入・活用状況

令和7年12月現在

	国費	単費	台数
多久市		○	2
伊万里市	○		4
武雄市		○	3
鹿島市	○		3
嬉野市	○		7
神埼市	○		13
吉野ヶ里町	○		3

	国費	単費	台数
上峰町	○		5
みやき町	○		6
玄海町		○	14
有田町	○		4
大町町	○		2
白石町		○	40
太良町	○		19

### 農業委員会によるタブレットの活用事例

#### 島根県益田市農業委員会

- 【概要・活用状況】**
- ✓ 全農業委員・推進委員分40台を導入
  - ✓ 3条等の申請対象農地の現地調査（現地確認アプリ）、活動記録簿、総会資料のデータ配布に活用

#### 【操作研修の実施方法】

- ✓ 総会終了後の30～60分程度を活用し、県会議が作成した操作マニュアルに加え、事務局作成の同書によりR5年に4回、この他、随時個別説明を実施

#### 【活用による効果・メリット】

- ✓ 現地確認では、
  - ① 土地勘のない農地も予め農地の位置を確認できる
  - ② 現地では、GPSにより調査対象農地の把握が容易である
  - ③ 農地の状況を画像で残せて、容易に共有できる
- ✓ 活動記録簿については、慣れれば難しくはなく、紙の管理が不要



#### 新潟県胎内市農業委員会

- 【概要・活用状況】**
- ✓ 全農業委員・推進委員分22台を導入
  - ✓ 目標地図の素案作成のための意向調査、3条等の申請対象農地の現地調査（現地確認アプリ）、活動記録簿に活用

#### 【操作研修の実施方法】

- ✓ 総会終了後の1時間程度を活用し、会議所の操作マニュアル等を用いて6回実施
- ✓ 研修を隔月で実施することで、継続的にタブレットの活用を浸透

#### 【活用による効果・メリット】

- ✓ 郵送による意向調査を行った後、未回答がある者への未回答部分の確認に際し、タブレットを活用
- ✓ 訪問時に把握した出し手の売却意向を受けて、担い手へのあっせんを実施
- ✓ タブレットで活動記録を入力することで、委員の紙面管理や事務局の集計作業が不要



#### 山口県長門市農業委員会

- 【概要・活用状況】**
- ✓ 全推進委員分21台を導入
  - ✓ 目標地図の素案作成のための意向調査、農地パトロールでの現在地確認（現地確認アプリ）等に活用

#### 【操作研修の実施方法】

- ✓ 旧市町区域別に開催する農地利用最適化推進地区別会議終了後の時間を活用し、会議所の操作マニュアルを用いて2、3回実施
- ✓ 個別の研修は随時実施、事前予約を受け対面形式で職員1人が対応

#### 【活用による効果・メリット】

- ✓ 意向調査について、
  - ① その場で回答を入力できる
  - ② 回答に応じて必要な設問のみが、自動で表示されるので、紙面の郵送等の調査より回答漏れが少ない
  - ③ 調査結果が、サポートシステムに直接反映されるため、事務局の入力作業が不要



**現地調査の効率化**：GPS機能により土地勘のない農地でも位置把握が容易になり、農地の状況を画像で残し、容易に共有できる。

**事務負担の軽減**：意向調査や活動記録簿の入力をその場で完結できるため、データ転記や紙の管理、事務局の集計作業が簡素化できる。

**情報共有の迅速化**：総会資料のデータ配布や最新情報のリアルタイム共有により、業務全体のスピードアップに繋がる。

## 6. 九州・沖縄ブロック農業委員会女性委員研修会

九州・沖縄ブロック女性農業委員研修会が11月18日、19日に長崎市で開催されました。九州・沖縄各县から約350人（本県28人）が参加し、親睦を深めるとともに講演会や研修をとおして農業委員会の役割について理解を深めました。

まず、初日のグループワークでは参加者が1班8~9人となり、仲間づくりと今後の農業委員会活動をさらに推進していくため、自己紹介や農業委員会活動について意見交換をしました。特に女性ならではの活動として、農業者年金の加入推進や農家に寄り添った相談活動などについて情報共有しました。

続いて、体操でオリンピック4大会連続出場、金メダル等を獲得した内村航平氏の母親である（一社）ShuWaアカデミー代表の内村周子氏が「夢を追い続けて」をテーマに講演。体操指導や子育ての経験に「前向きに生きる姿勢の大切さ」などを熱弁されました。

2日目は、全国農業会議所の鈴木主事から食料・農業・農村基本計画における農業委員会の役割について報告がありました。農地の大区画化や施設の再編整備、地域計画の実行に向け、農業者や関係機関との継続的な話し合いの重要性を強調されました。

また、農業者年金基金の黒田理事長からは、農業者年金のメリットや若い農業者や女性、夫婦での加入を強調されたあと、加入推進については信頼関係を大切にした心構えと粘り強い推進が重要と語られました。

最後に、全国農業委員会女性協議会の道下会長（写真前列左から4人目）による研修が行われ、女性委員登用を進めるためのポイントや女性が参画することで農業委員会にもたらされる効果について学びました。

女性ならではの視点やつながりが、地域の多様な声を生かした農業委員会活動につながることが改めて確認されました。

今回の学びと交流を糧に各地域で女性委員のさらなる活躍が期待されます。

なお、令和8年度は11月18日、19日に大分市で開催されます。



## 7. 武雄市農業委員会の取組みについて

### 【農業委員会の体制】

任期：令和 6 年 7 月 20 日～令和 9 年 7 月 19 日

体制：農業委員 19 名、農地利用最適化推進委員 26 名、事務局 4 名

#### (1) 武雄市の概況等

武雄市は佐賀県の西部に位置しています。周りを八幡岳、黒髪山、神六山、杵島山などに囲まれ、六角川、松浦川、鳥海川が流れています。流域には肥沃な田園が広がっており、武雄・橘・朝日・北方の六角川平坦地帯は土地利用型農業、若木・武内・山内の北部山麓地帯は畜産と水田の複合型農業、東川登・西川登の神六山麓地帯は茶園等の樹園地と水田の複合型農業の 3 つに分けられます。

基幹作物である、米、麦、大豆を中心に、きゅうり、いちご、チンゲン菜等の施設園芸、中山間丘陵地を活かした、お茶や畜産との複合経営が展開されています。

#### (2) 農業委員会の取組み

担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進という農地等の利用の最適化の推進に係る活動について、活動目標を設定し、地域における農地の見回り等の現場活動を行っています。

毎月の総会・調査委員会では、農地の権利移動に対しての意見書作成、許可事務を行い、効率的な農地利用について、農業者を代表して公正に審査を行っています。

また、毎年各地区に分かれ、農地パトロールを実施しています。主に遊休農地の実態把握と解消推進、農地の無断転用の防止、農地法の許可

(届出) 案件の履行状況の調査等、農地の有効利用に向けた関係者への啓発・普及等を目的に取り組んでいます。

令和 6 年度からは推進委員・農業委員が実施した利用状況調査の結果、再生利用が困難な農地と判断された場合は、非農地として農地台帳から除外するとともに、市長部局とも連携し、職権で一括して法務局に地目変更の申出を行い、法務局が地目変更登記を行うなどの取組をしています。

他にも、農業者年金への加入推進、地域における話し合い活動への参加等、地域農業を持続していくため日々活動を行っております。



## 8. Open Farmland in Saga ~企業参入（農地見学会）

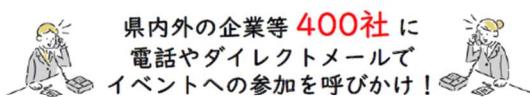
### Open Farmland in Saga ! (第2弾) 佐賀県内の3市町（6地区）で開催しました！

R7.11.21-22

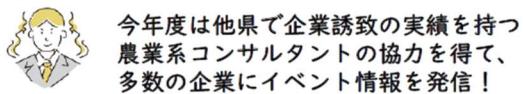
地域では「担い手不在の農地をどうするか」という声が多く挙がっており、その課題解決の糸口として、佐賀県主催で企業と農地のマッチングイベント「Open Farmland in Saga ! (農地見学会)」を開催しています。今年度は、企業に紹介できる大規模農地が集まった県内3市町（嬉野市、唐津市、みやき町）の6地区において、11月21日（金）～22日（土）の2日間にかけて第2弾を開催しました。

第2弾は、より多くの企業にアプローチ！

企業・法人参入推進チームの積極的営業！



NEW “企業参入コーディネーター”を設置！



農業系企業・法人21社

(県内11社、県外10社)

の参加がありました！



第1弾の2倍以上！



農地情報を  
ダイレクト発信！



Open Farmland ! とは

学校等で校舎を開放して行われる「オープンキャンパス」を農地でもやってみようとする  
**佐賀県独自の取組**として、昨年度から開催しています。

#### ● 農地見学会

DAY 1 → DAY 2 →



嬉野市



唐津市



みやき町

#### ● Open Farmland ! 後の動き

参入意向を示された企業の  
営農プランを聞き取り、  
マッチングに向けた調整に  
取り組んでいます。



ぜひ一緒に新たな担い手の確保に取り組みませんか！

当イベントは、令和8年2月に第3弾の開催を予定しております。  
まとまった農地が確保出来れば、企業や法人に紹介しますので、  
新たな農地の掘り起こし及び情報提供をお願いいたします。



## 9. 就農応援フェア in さがの紹介

# 就農応援フェア in さが

～がばいよかとこ！あなたの未来、佐賀の大地で育てよう～

ほうれんそうトレーニングファーム  
きゅうりトレーニングファーム

いちごトレーニングファーム

事前申込優先  
当日参加もOK!

参加費無料

場所

日時 2026年  
1月18日(日)  
10:00~15:00 (バスツアー: 16:30終了)

申し込み  
右の二次元  
バーコードから  
お申し込みください

期限: 2026年1月13日(火)

QRコード

就農相談会  
(グランデはがくれ)

自営就農から法人就農まで  
幅広い就農相談ができる！

ミニセミナー  
(グランデはがくれ)

トレーニングファーム卒業生や  
農業法人の話が聞ける！

花栽培  
Startupセミナーと  
コラボ開催  
花栽培見学バスツアー  
(鹿島市)  
先着20名程度

花の栽培現場が見られる！  
農家の話が聞ける！

＼来場者プレゼント／

来場された方には抽選で佐賀の農作物等をプレゼント！

主催／佐賀県 農業経営課  
問い合わせ先／佐賀県 農業経営課  
共催／JAさが、公益社団法人佐賀県農業公社 ☎ 0952-25-7118 ✉ shunou-shien@pref.saga.lg.jp

佐賀県 SAGA PREFECTURAL GOVERNMENT

## 10. 大区画化等加速化支援事業の紹介

R7.12.版

**区画  
拡大**

**農地を広くして、  
効率的な農業をしませんか！**

農業者の皆様へ

皆さんに行われている畦畔除去等の取組に  
活用できる補助事業があります！

【 4枚の農地が1枚の広い農地となった事例 】



作業前



畦畔除去



作業後



整地

**区画拡大**

### 補助事業の活用によるメリット (R8.4月～)

- 1) 従来のほ場整備より「早く」実施できます。
- 2) 農業者の自力施工により、以下の「助成」が受けられます
  - ・区画拡大（畦畔除去+整地） 6万円～7.5万円／10a
  - ・畦畔除去のみ 4万円～5万円／100m
- 3) 暗渠排水や湧水処理なども「併せて実施」出来ます！
  - ・暗渠排水（トレーンチャーの場合） 13.5万円～23.5万円／10a

※上記は、国庫補助事業を活用した場合の助成単価（定額）

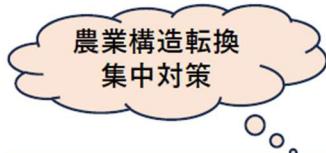
※1ha以上に大区画化する場合、助成単価がUPします。

※区画拡大については、農地の高低差や表土扱いの有無でも助成単価が変わります。

お問い合わせやご相談は、下記へご連絡ください。

最寄りの市町、所管する農林事務所

または、佐賀県農地整備課 ☎0952-25-7127



大区画化等加速化支援事業の概要

## 【事業の概要】

農業者が減少する中、生産性の向上、生産コストの低減に向け、国において、『大区画化等加速化支援事業』が創設されました！（令和8年4月から実施が出来ます。）

### 事業内容

①ハード事業（畦畔除去等による区画拡大や暗渠排水等の簡易な基盤整備）  
【定額助成】

・区画拡大

・区画拡大と併せて、下記のその他の工種も組み合わせても実施出来ます。

- |             |                           |     |
|-------------|---------------------------|-----|
| ・暗渠排水       | ・客土                       | ・除礫 |
| ・湧水処理       | ・畑地転換工                    |     |
| ・末端畑地かんがい施設 | ・更新整備（用排水路、農作業道、畦畔、排水口等）等 |     |

②ソフト事業（条件改善推進費）【定額助成】300万円／（地区・年度）

- ・本事業の実施に向けた農地集積や基盤整備等に関する調査・調整活動
- ・ハード事業の実施にあたって必要となる工事図面の作成 等
- ・これら調査等は農業者等から県土連等に委託することも出来ます。

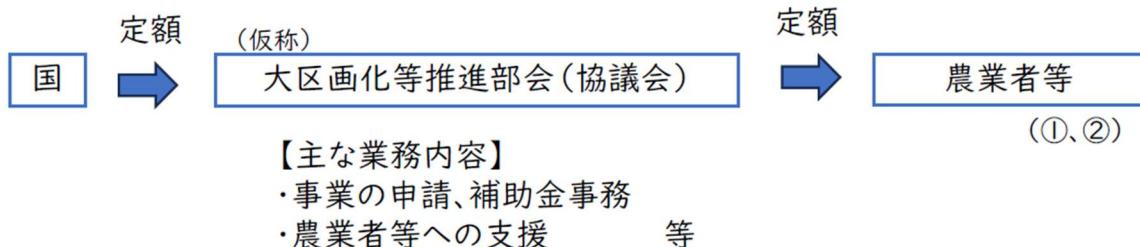
### 事業実施主体

県、県土連、市町、農地中間管理機構、農業者団体（土地改良区等）、農業者等

### 採択要件

実施する農地が「地域計画」の策定区域内であること

### 支援の流れ



※【定額助成】とは、事業を実施する農地の面積や延長に応じ、助成を受けられるものです。

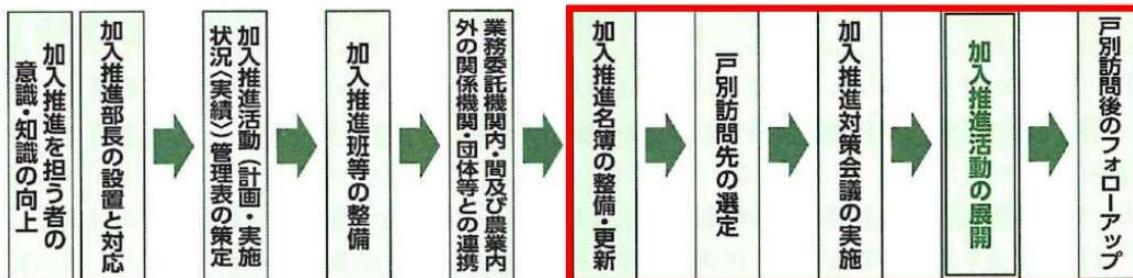
## 11. 農業者年金の加入推進

10~11月の新規加入状況は以下のとおりです。佐賀市、小城市、白石町で加入があり、佐賀市と小城市が目標達成されています。

多くの市町で加入推進強化月間期間中およびこれから期間に入られます。

戸別訪問をはじめ、農業者が集まる会合等でチラシを配布するなど、積極的にPRをお願いします。

市町名	目標	10月	11月	合計	達成率	達成まで
佐賀市	7	0	5	11	157%	達成
唐津市	11	0	0	2	18%	9
鳥栖市	1	0	0	1	100%	達成
多久市	1	0	0	0	0%	1
伊万里市	3	0	0	0	0%	3
武雄市	1	0	0	3	300%	達成
鹿島市	2	0	0	1	50%	1
小城市	3	1	0	3	100%	0
嬉野市	2	0	0	1	50%	1
神埼市	2	0	0	0	0%	2
吉野ヶ里町	1	0	0	0	0%	1
基山町	1	0	0	0	0%	1
上峰町	1	0	0	0	0%	1
みやき町	1	0	0	0	0%	1
玄海町	2	0	0	0	0%	2
有田町	1	0	0	1	100%	達成
大町町	1	0	0	0	0%	1
江北町	1	0	0	0	0%	1
白石町	6	2	3	11	183%	達成
太良町	3	0	0	0	0%	3
計	51	3	8	34	67%	17
20~39歳	36	2	2	20	55.6%	16
女性	29	2	5	11	37.9%	18



### ★加入推進活動の流れ★

○加入推進班等の整備：地区別に推進班を組織するなど、戸別訪問を機動的に実行できる体制を整備します。

○関係機関・団体等との連携：農業委員会やJAが、行政機関や各種組合員組織などと連携し、新規就農者等の情報を共有してPRの機会を増やします。

○加入推進名簿の整備・更新：農業委員会（各委員含む）やJAがそれぞれ持つ情報を活用し、対象者をリストアップした名簿を作成・更新します。

※個人情報の取扱いには十分お気を付けください。

○戸別訪問先の選定：推進状況や地域の実情を踏まえ、名簿に基づき訪問対象者を選定します。

○加入推進活動の展開：各種説明会での制度説明、広報誌への記事掲載、戸別訪問などを通じて活動を展開します。

○戸別訪問後のフォローアップ：訪問時の状況を記録簿に整理し、加入の意思がある場合は連携してスムーズな手続きを行うなど、フォローアップを行います。

◆戸別訪問の対象者が後継者や配偶者であれば、経営主などの家族の同席を求め、家族全員の理解が得られると加入に結びつきやすくなります。

1度の戸別訪問では、すぐに理解を得られにくいので、対象者の意思や経営状況等を踏まえて、2~3度戸別訪問を実施することが重要です。

農業者年金基金のホームページでは、年金額のシミュレーションができるので、是非活用してください。

**加入推進班を整備し、農業委員会とJAが連携して戸別訪問などの推進活動への取組みをお願いします！**

●おしらせ：農業会議とJA中央会でインスタグラム広告とラジオCMを実施中です！

今年度は、県内での女性加入が少ないため、主に女性農業者の加入を後押しする内容としています。期間は令和8年3月末まで。

## ○広告媒体

- ・インスタグラムでのバナー広告



- ・NBC ラジオとFM佐賀での20秒と40秒CMの放送

→各局それぞれ1日1本程度（平日8~16時の間）

ほかラジオ番組内でパーソナリティによる40秒と60秒の生CM

## 12. 全国農業新聞の普及推進、全国農業図書の紹介について

### ○全国農業新聞の普及推進

**普及推進キャンペーン実施中！！**  
**農業経営に役立つ情報が満載**

令和8年1月現在

市町名	目標	部数	目標達成まで	委員未購読数
佐賀市	187	137	50	5
唐津市	123	102	21	4
鳥栖市	51	42	9	0
多久市	51	41	10	0
伊万里市	74	60	14	4
武雄市	83	65	18	0
鹿島市	75	60	15	1
小城市	79	68	11	4
嬉野市	64	48	16	4
神埼市	74	64	10	2

市町名	目標	部数	目標達成まで	委員未購読数
吉野ヶ里町	37	35	2	0
基山町	21	17	4	1
上峰町	18	13	5	2
みやき町	36	28	8	0
玄海町	30	23	7	0
有田町	37	32	5	2
大町町	19	15	4	0
江北町	35	31	4	0
白石町	62	52	10	2
太良町	44	32	12	0
農業会議	100	93	7	
	1,300	1,058	242	31

「全国農業新聞」を是非ご購読お願いします。

農業委員会組織では、全国農業委員会会長大会の決議に基づき、  
農業委員・推進委員全員に「全国農業新聞」を購読いただく  
活動に取り組んでいます。



全国農業新聞は、農地利用最適化活動や地域計画の実現、プラッシュアップなど各委員が地域で活動に取り組む上で参考になる情報が満載されています。

また、農業者に役立つ最新の技術や先進農家の取り組み等を紹介しています。

**早期に農業委員・推進委員の皆購読を！！**

# 全国農業新聞

## 普及推進キャンペーン

### 実施中!!

農業経営に役立つ情報が満載!!



#### キャンペーン概要

- 目的 情報提供活動の強化のため「農業委員・推進委員1人・1年・1部純増運動」の実施により、全国農業新聞の普及推進を図る。
- 期間 令和7年10月1日(水)～令和8年3月31日(火)
- 対象(推進者) 農業委員・農地利用最適化推進委員等
- 内容 キャンペーン期間中に全国農業新聞の新規購読に結びついた場合は、1部につき500円分のクオカードを推進者に進呈します。  
ただし、100部に達成次第、終了します。  
※推進者自らの購読は対象外



#### 全国農業新聞の特徴



- 農業経営に役立つ最新技術・政策動向を掲載
- 農家の経営発展に有益な情報源
- 地域の農業振興に必要となる情報収集ツール

#### ご協力のお願い

このキャンペーンの実施により、より多くの農家の皆さんへ全国農業新聞の普及推進をお願いします。

【問い合わせ先】一般社団法人佐賀県農業会議 担当：徳永

TEL：0952-20-1810



## ○全国農業図書の紹介

### 新刊図書の案内

#### 2025年度版 農業委員会業務必携 92号

##### 農業委員・推進委員の必携図書！

最重要の必携図書です。本年度版は農業委員会における「地域計画」実現の取り組みを特集するとともに、研修会でご活用頂きやすいよう、内容のより一層の整理・充実を図っています。  
主な内容は下記のとおりです。

- ・特集 令和7年度以降の地域計画の取り組み
- ・農政ピックアップ 食料・農業・農村基本法と関連法制度の改正・制定
- ・農業委員会の業務と具体化な進め方  
第1章 農業委員会の業務、第2章 農地利用の最適化、  
第3章 関係法令に基づく業務、第4章 担い手の育成・確保  
と情報提供活動、第5章 農業者等との意見交換会と関係行政機関への意見の提出等を掲載

【税込1,496円】



#### 2025年度版 農家相談の手引

##### 農地・経営対策に役立つ！支援制度の資料集！

農業委員・農地利用最適化推進委員をはじめとした地域農業のリーダー等が農業者から相談を受ける際に制度や施策の要点について説明するために活用できる資料集です。

各種研修会のテキストとして、農業に関するさまざまな制度を学ぶ手引書として幅広く使用できる、多くの情報をわかりやすくまとめています。【税込880円】



#### 4訂 農業委員・推進委員活動マニュアル

##### 「地域計画」の実現に向けて内容を一新！

「農業委員・推進委員が活動するために必要な情報を盛り込んだマニュアルです。農業経営基盤強化促進法等の改正に伴い、令和7年3月までに全国1万8633地区で「地域計画」が策定されたことを踏まえ、内容を一新しました。

第1章では農業委員会についての基礎知識や期待される役割について、第2章では農業委員会の業務内容について解説。第3章では「地域計画」の策定に向けて、どのように取り組めばよいのか、また、「地域計画」策定後のブラッシュアップ（見直し）をどう進めて行くかを具体的に紹介しています。【税込770円】



## 13. 常設審議委員会の結果について（11月・12月）

農地法第4条及び第5条の規定により県農業委員会ネットワーク機構（佐賀県農業会議）に意見を求められた案件について、常設審議委員会で審議されました。

第116回、第117回の件数及び面積については、下表のとおりです。

<農地法関係処理状況>

### 【審議件数】

回数	期日	区分	件数
第116回	11月17日	第4条	1
		第5条	2
第117回	12月15日	第4条	1
		第5条	2

### 【田畠別件数及び面積 (m<sup>2</sup>)】

回数	期日	区分	田		畠		計	
			件数	面積	件数	面積	件数	面積
第116回	11月17日	第4条	1	3,711	0	—	1	3,711
		第5条	2	9,418	2	2,043	2	19,750
第117回	12月15日	第4条	1	3,711	0	—	1	—
		第5条	0	—	2	11,968	2	16,425

※田・畠混合の案件があるため、件数の計が一致しない。

## 14. 今後の行事予定について

月	日	時間	場所	内 容
1	15	13:30	佐賀総合庁舎	第118回常設審議委員会
	20	13:30	グランデはがくれ	農業担い手Sプラス推進事業 経営発展研修会
	29	14:00	武雄市役所	農業委員会職員地区別研修会(杵藤地区)
	30	14:00	ドゥイング三日月	農業委員会職員地区別研修会(佐城・東西松浦地区)
2	10	13:30	ドゥイング三日月	市町農業委員会事務局長会議
	13	13:30	佐賀総合庁舎 Web併用	農業委員会職員研修会(所有者不明農地対策)
	16	13:30	佐賀総合庁舎	第119回常設審議委員会
	19	14:00	小城市三日月町	農業委員会女性協議会視察研修会
3	16	13:30	佐賀総合庁舎	第120回常設審議委員会
	25	13:30	佐賀総合庁舎	第20回農業会議理事会

※12月末時点の予定ですので変更もあります。公文書の確認をお願いします。

ご予定お願いします！！